



# とっぱずれ



銚子東ロータリー・クラブ Weekly Bulletin NO. 1847



乙女峠からの富士山 提供：澤井 博 広報・会報委員長

第1847回 例会 平成22年1月26日

\*\*\*\*\*

点 鐘 … 狩野 勉 会長  
 ローターソング … 手に手つないで  
 来訪ロータリアン紹介  
 … 親睦活動・家族委員会  
 会長挨拶 … 狩野 勉 会長  
 御祝披露 … 狩野 勉 会長  
 誕生祝 … なし  
 結婚記念日 … 木村 貞夫 会員(1月21日)  
 … 杉浦 武 会員(1月24日)  
 入会記念日 … なし

幹事報告 … 吉田 孝至 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓話  
 「年男の挨拶」  
 宮内宗一会員・山本嘉一郎会員

出席報告 … 出席・プログラム委員会

来週のプログラム(平成22年2月2日)

\*\*\*\*\*

卓話  
 「年男の挨拶」  
 木村貞夫会員・杉浦武会員・川津光雄会員

お食事処「銚子プラザホテル」



## ロータリーの未来はあなたの手の中に

2009~2010年度 RI 会長 ジョン・ケニー (John Kenny)

第 1846 回例会(平成 22 年 1 月 20 日)

**会長挨拶**

銚子RC 坂本 尚史

銚子東ロータリークラブの皆様、遅ればせながら、あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。特に、本年 7 月には織田ガバナー年度を迎えます。地区大会などご負担をお掛けすることになるかと思いますが、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。



本日の合同例会の卓話を、白鳥パストガバナーにお願いしましたところ、快くお引き受け頂き誠に有り難うございました。どうぞよろしく願ひ致します。また、ガバナーエレクトの国際協議会出発に際しては奥様ともどもお見送り頂き、ありがとうございました。

昨日は、第 7 分区の会長幹事会が行われ、来月の IMI についての話し合いなどが行われました。また、さる 15 日には、千葉科学大学ローターアクトクラブの新年会が行われ、銚子 RC から 4 名、銚子東 RC からは 5 名の方にご参加頂きました。アクトのメンバーは同日午後から大学内のゴミ拾いのボランティアを行ったそうです。メンバーは多くありませんが、彼らなりに頑張っているようですので、今後ともご支援をよろしくお願ひ致します。

さて、本年度の会長挨拶では、折に触れて環境問題に関するお話をさせて頂いておりますが、本日は生物の多様性に関して少しご紹介させて頂きます。今年国際生物多様性年とされ、10 月には名古屋市で生物多様性条約第 10 回締結国会議(通称 COP10)が開催されます。この条約は、自然状態の約 1000 倍というかつて無いスピードで進行している生物多様性の喪失を食い止めることを目的として制定されたもので、野生生物を守り、多様な生態系を保護しようとするものです。生態系は、生産者である植物から始まって、小動物の一次消費者、大動物の二次消費者、微生物などの分解者で成り立っています。人間は二次消費者に相当しますが、これらの程よいバランスが成り立つことで安定した生態系が保たれます。生態系は多様な生物群で構成されるのが自然な状態で、多様性が失われるほど絶滅の危機が高まります。生物多様性の喪失の原因にひとつに外来生物の問題があります。われわれ人類が、意図的かどうかは別として、他の場所から様々な生物を移入させたことにより、生物の多様性が失われています。たとえば、ブラックバス、アメリカザリガニ、食用ガエル、アカミドリガメなど、多くの例が見られます。もともと、淡水魚の代表である鯉も外来種だですし、人間もそもそもアフリカで誕生して世界に進出した、ある意味で外来種ですから、単純な問題ではなさそうです。現在、外来生物法が制定されて、外来生物の移動・飼育・栽培・保管・輸入・譲渡・販売・野に放つことが禁止されています。外来種と言えば、外国からの移入された生物を考えますが、生物学的には国内の他の地域からの移入も外来種、国内外来種と呼ぶそうですが、ということになります。例えば、銚子でメダカが減ったからと言って、九州から移動させると、遺伝子的な交雑がおこり、生物の多様性が失われることになります。

このように、生物の多様性を保護する事は大切です。多様な生物が共存する事で、生態系のバランスが保たれます。こ

のことは、人間界にも言えることで、個性を伸ばす教育が重要視されるようになってきました。ロータリークラブも元来は一業種一会員制で多様性を保つことが奨励されてきました。今後とも幅広く新入会員を勧誘する事で、絶滅の危機を逃れることが必要なのではないでしょうか。

**幹事報告**

- 1・ガバナー事務所より
    - ・会員増強の推奨～スポンサーピンについて～
    - ・障害者スポーツ大会ボランティアについて
    - ・ハイライトよねやま 1 1 9
    - ・2月ロータリーレートのお知らせ 1\$=90円 受領
  - 2・第 2720 地区パストガバナー前岡志郎様より  
RI 日本 RC 認証順位一覧 受領
  - 3・地区ロータリー財団委員会より  
11-12 年度 R 財団国際親善奨学生募集について 受領
  - 4・地区社会奉仕委員会より  
委員会便りその 4「社会奉仕プロジェクト訪問」 受領
  - 5・ガバナーエレクト事務所より  
地区委員委嘱のお願い 受領
  - 6・銚子 RC より  
分区内社会奉仕懇談会開催のお知らせ 受領
  - 7・例会変更のお知らせ  
旭 RC より 1/29(金) 点鐘 18:30  
「昇月」夜間例会(新年会)の為 受領
- ☆週報受領 八日市場 RC

**卓話**

「インド N I D に参加して」

RI 第 2790 地区パストガバナー 白鳥 政孝 氏

国際ロータリー第 2830 地区パストガバナー関場慶博様の呼びかけでインド N I D (全国予防接種日)に参加した。2007-08 年度 RI 会長ウィルキンソン氏が「ロータリーはマジックである。ロータリーはカナダの一会計士にポリオ・ワクチン投与の体験をさせて素晴らしい感動を与えてくれた」というスピーチの一端が頭にあったこと、と 70~60 年前に流行したポリオに罹患した人の悲惨な姿の写真や、「ロータリーの友」に掲載されるポリオ撲滅に関する記事が多く、ロータリーが全力を傾けているポリオ・ワクチン投与の実状を知る良い機会だと思ったことが参加の大きな理由であった。



**1月8日(金)**

1月8日から11日の日程で全国からロータリアンとその家族、米山奨学生学友会から36名(11名は女性)が参加した。デリーの空港の外は11℃という予想外の寒さに加え、乾季のため街全体が埃に覆われているので樹木も精気を失っている。道路は輪タクに小さなエンジンを付けただけで3人の客を乗せる軽三輪が通行車両の半分を占めている。われ先にと隙間を見つけてはクラクションを鳴らしながら突っ込んでくる見事な走りぶりに感心する。喧騒と汚れ、路上生活者のテントの群れ、何をする当てもない人、人が溢れて露店通りや市場に大勢の人がたむろしている。

8:30 に宿泊するホテルに着くが、ガードマンによる空港並みの検査を受けてホテルに入る。昨年ムンバイのホテルでテロによる大爆発事件のあったことが思い出された。同期のガバナーである飯さん、齋藤さん、佐藤さん、鐘ヶ江さんと私を加えて 5 人参加している。そのときの国際協議会における研修リーダーであった関場先生ご夫妻を囲んで遅い食事をとる。

### 1月9日(土)

NID実施前のセレモニー出席のためデリー保健省長官の公邸に行く。車中から見る街は、オールドデリーとニューデリーとは際立って街の様子が違う。ニューデリー地区は官庁街と高級住宅が多く、ガードマンが所々に立ち、街も一応整っている。オールドデリー地区は、空には鷹のような鳥が乱舞し、地上では人が群れ、わがもの顔に佇立している牛、やせた野犬が多く、すすけた古い建物、露店のような商店が無秩序に連なる街並、それにクラクションの喧騒が渾然一体となっている様をなんと表現してよいかわからない。

私たちの乗るバスに好奇心目が向けられ、母がいたいけな子どもを連れて、また、二人連れの子どもが中国雑技団のように身体をくねらせトンボ返りをしては物をいしている。

3010 地区が独自で設立し、事業をしている ROTARY BLOOD BANK を訪れた。5階建てのきちんとした建物で昨年は 4 万 7 千人の人に輸血用血液を供給している。設備は清潔に保たれており、職員の仕事に対する熱意は素晴らしい。3010 地区の元 RI 理事の献身的な行為によりこの事業は始まり、現在その事業は地域社会に大きく貢献している。一地区でこのような事業を行っているインドのロータリアンの底力を感じた。またロータリーが個人による奉仕が奉仕を呼んでいかに大きく事業が展開しているのかも知る。

血液銀行の会議室で関場先生からポリオに関する情報を聞いた。ポリオを完全に撲滅することはできないかもしれないが、ワクチン投与によってポリオの蔓延、流行は抑えることができる。次々に生まれてくる 5 歳未満の子どもに定期的にワクチンを投与する作業は欠かせない。

デリーの保健省長官の公邸で開催されたインド NID のセレモニーで“END POLIO NOW”のスローガンを確認した。見慣れたワクチン投与のとき着用するエプロンとキャップ、それに資料一式を渡されると不思議に緊張感をともなった使命感が沸いてきた。

ホテルに帰る途中、26ヶ所あるインドの世界遺産の一つであるクトゥブ・ミナールを見学した。72.5メートルの高さを誇る世界一のミナレットは迫力十分だ。インド全土を覆っている赤い色の砂岩とインド産の大理石が使われ、建物の赤と白のコントラストが素晴らしい。

夜に公営のアショカ・ホテルで開催されている第 3010 地区の地区大会二日目の夕食会に出席のため 8 時に会場に入ったが、まだ熱心に討議を重ねていた。2 千人ぐらい入る会場は熱気むんむん。フォーラムに続きガバナーエレクト、ガバナーノミニの挨拶が時間をオーバーしても悠々とスピーチしている。9 時 30 分になりやっと食事となったが、会場がそのまま食事会場となり、バイキング形式のため混雑し、とても食事にありつけない。あきらめてホテルに帰り、2820 地区(茨城)と同行の当地区の二人に青森の PDG が一緒になりワイワイガヤガヤとインド料理を楽しんだ。

シャワーを浴びる時間もなく、明日のポリオ投与に出かける用意をしてそのまま寝ることにした。

### 1月10日(土)

寒い朝だ、11~14 人の 3 班に分かれ、ワゴン車に乗り込みワクチン投与の現場に向かう。約 40 キロの道のりを 1 時間半ほどで到着。デリーのロータリアンが用意した最初のワクチン投与のブースに入る。もの凄い悪臭と人混み、舞上がる埃、散乱されているゴミ、乳白色と濃い緑色した汚水が溢れて全く流れをなしていないドブ、クラクションのけたたましい音、が入り混じる凄まじいところだ。その劣悪な雰囲気寒さが加わり、一瞬、たじろいだりが投与を開始した。

母親や兄や姉が連れてくる弟や妹に交替でワクチンの投与を始めるが、10 人も投与すると指先と肩に疲れを感じてくる。どこからくるのか子どもは次から次へとやってくる。おじさんがダブって投与しないようにと子どもの左小指にマーカーで記しをつけている。終わると小さなボールか、鉛筆一本か、ホイッスルが貰えるので、要領の良い子は再び列に紛れこもうとしているのを見つけては引っぱり出していた。現地のおじさん、保健婦らしい人の仕事ぶりに感心する。おじさんからカシュウ・ナッツと甘い菓子を食べるように勧められて閉口したが、思い切って 2~3 粒口にした。そうしたら喜んでいた。

立っていても冷え込んでくるのに素足の子どもがいる。私たちに全幅の信頼をおいて口を開けているいたいけな子どもたちの無事を祈りながら、ワクチンを二滴たらず作業に何ともいえない感動がこみ上げてくる。

ほどなくして別な場所へ移動する。そこはもっと劣悪な場所でワゴン車の後ろのドアを上げて投与した。この子どもの頭は埃だらけでシャワーを浴びることなどないかもしれない。先の子どもにくらべて子どもの顔立ちもあどけなさが消えてきつい顔つきになっている。より劣悪な生活からそうなるのかもしれない。ここからさらに奥へ入ったらもっと酷くなるかもしれないと思った。

私の班の投与は 2ヶ所だけだが、他の班は 4ヶ所で実施したそうだ。帰りにこれも劣悪な街のなかにある病院に立ち寄りワクチンの保存状態を見た。冷凍庫の中にワクチンが保存されており、ここから現場のブースに運ばれていくそうだ。次々生まれてくる幼児に含ませるワクチンの製造と保管、輸送、投与する人の確保などを思うとポリオ撲滅にかかる費用が膨大になることも頷ける。この辺りに来ると自動三輪車ではなく、自転車でこぐ輪タクが多い。食事もとらず、といってもとうてい食べる気がまったくしない。

ホテルに帰り、急いでシャワーを浴び、帰国のため空港に向かう。途中わずかな時間を利用して 1562 年に 8 年の歳月をかけて建築した世界遺産であるフマーユーン廟を見学した。左右対称の赤い砂岩でできた落ち着いた雰囲気の建物だった。この建築スタイルは有名なタージ・マハールにも影響しているといわれている。

インドディラガンジー国際空港から夜 8:20 帰国の途についた。

### インド NID に参加した感想を列記する。

・二つの世界遺産からより、雑多な雰囲気のオールドデリーの街とスラム街から受けた印象の方がはるかに強烈であった。今回のインド NID の参加はわずかに日数だが考えさせられることが実に多かった。

・歴代 RI 会長が、水、健康と飢餓、識字率向上、を強調事項としていることに実感として受け止めることができた。これらは全てが有機的に関連している。これからは RI 会長の強調事項とともにインドやポリオにもっと関心を持っていこうと思う。

・先進国の化学の発達が後進国の生態系の自然循環の形を破壊しているといっても過言でない。

スラム街のドブに散乱されているプラスチックの袋や固形物は地中に溶けないのでそのままの形で捨てられ、ドブの流れをせきとめてしまい、ドブには排泄物や生活排水が滞り、そこから異臭が放たれている。また街中のいたるところにもプラスチックのゴミが散乱し、ゴミ集積場所に溶解しないプラスチックのゴミが環境をより悪化させているような気がしてならない。酷暑の雨季になったらもっと劣悪な環境になるだろう。

・もしわが国の青小年がこの劣悪な場所に行ったとしたら、ただ単純にもう二度と行きたくないと思うのか、あるいは自分のおかれている環境に感謝し、人生や生活を見直す良い機会となるかだ。後者でありたいと思う。

・先進国の 10 億人が文明の発達している高度な生活を享受できているのは、後進国の 50 数億人からの資源の収奪の上に成り立っていることも実感としてとらえられた。

聞くと見るとの違いの差を体験した旅ははじめてだった。

—————ニコニコ—————

**RI 2790 地区パストガバナー 白鳥政孝様**  
ニコニコを頂きました。有難うございました。



### 第 7 回定例理事役員会

日時：平成 22 年 1 月 20 日（水）17：30～  
議 題

- 1・2 月例会スケジュールの件 承認
- 2・年末家族親睦会収支決算書の件 承認
- 3・第 7 分区 I. M の件 承認
- 4・RYLA の件 承認
- 5・WCS 奉仕プロジェクト協力の件 承認
- 6・合同例会予算案の件 承認

### 2 月例会スケジュール

- 第 1 例会 2 月 2 日  
卓話「年男の挨拶」  
木村貞夫会員・杉浦武会員・川津光雄会員
- 第 2 例会 2 月 9 日  
卓話「未定」  
銚子市長 野平 匡邦 氏
- 第 3 例会 2 月 16 日（水）  
卓話「未定」  
銚子税務署 署長 小磯 吉雄 氏
- 第 4 例会 2 月 23 日  
卓話「未定」

### 前回の例会(1/20)報告

点 鐘	狩野 勉 会長		
出席報告			
会員総数	34 名	出席規定除外数	7 名
出席者	27 名	出席率	100 %
12月22日		確定出席率	100 %
来訪ロータリアン			
	RI2790 地区パストガバナー 白鳥政孝氏（市原RC）		
欠席者	なし		
メークアップ			
	平野君 川津君 澤田君 (1/20 銚子RC)		
スモールコイン BOX			
	<b>累計 ¥ 41,650-</b>		
ニコニコBOX			
	<b>小計 ¥ 21,000-</b>		
	<b>累計 ¥426,800-</b>		

銚子東ロータリー・クラブ 銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館内 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789  
 メール [c-higashirc@tcs-net.ne.jp](mailto:c-higashirc@tcs-net.ne.jp) URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>  
 例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室  
 会長 狩野 勉 副会長 杉浦 武 幹事 吉田孝至  
 R. I 第2790地区 クラブ広報・会報委員会 澤井 博・澤田武男・大内恭平・山本幸男・杉浦 武  
 表紙題字 網中喜一郎初代会長

### ほととぎす 銚子は国の とっぱずれ 古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦（古帳庵 古帳女）が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福（円福）寺に現存する。